

ここから始める

保存版

情報モラル指導ガイド

～ 全ての児童生徒の適切な指導を目指して～



平成30年2月 岡山県総合教育センター

はじめに

自分専用のスマホ・携帯を持ち、日常的にインターネットやコミュニケーションサービスを利用する子供が増えるにつれ、友達との関係や家庭生活に大きな影響が現れるようになってきました。多くの教員が喫緊の課題として指導の必要性を感じていますが、指導の準備や方法に不安や戸惑いを抱えている教員が多く、系統的な取組を実現するためには、校内研修を中心として全校全職員で、取り組んでいくことが大切です。

児童生徒のスマホ等の所持率



小学生 31.6%
中学生 53.2%
高校生 97.4%

平成28年度スマートフォン等の利用に関する実態調査の結果について(岡山県教育庁義務教育課生徒指導推進室)から

情報モラルの指導を行う上での課題

※ 研究委員会による情報交換から

【校種ごとの課題】

- ・今すぐ必要な課題としてとらえにくい(小学校)
- ・事後対応的な取組が多い(中学校)
- ・実態把握が難しい(高等学校)
- ・参考となる実践例がほとんどない(特別支援学校)

【共通の課題】

- ・多忙で準備や授業時間をとりにくい
- ・講演会や外部講師にお任せになっている
- ・必要性は感じるが何をすれば良いか分からない

児童生徒が抱える課題

スマホ・ネットの問題は多岐にわたり複雑ですが、児童生徒が抱える課題は、次の3点に集約されます。

- ① **ネット依存** : 実生活への影響、学力低下、不登校、健康被害…
- ② **SNSトラブル** : 実態把握の難しさ、ネット上でのいじめ…
- ③ **ネット被害(加害)** : 個人情報の流出、偽情報、架空請求、誘い出し、性被害



OKAYAMAスマホサミット
公式キャラクター「スマホ太郎」

岡山県の取組

平成27年7月にスマホ・ネット問題総合対策会議が立ち上げられ、スマホサミットの実施やネット依存に関する研究等が進められています。

- ネット上のいじめに関する教職員研修を全ての学校で実施
- 児童生徒への情報モラル指導や保護者への啓発を全ての学校で実施

岡山県いじめ問題対策基本方針(平成26年)「岡山県のいじめ問題対策の重点」から抜粋

- スマートフォン・ゲーム等の夜間使用制限 岡山県教育委員会(平成26年)
 - ・保護者が午後9時以降はスマホを預かりましょう。
 - ・ゲームも午後9時までとしましょう。

- OKAYAMAスマホサミット 【主催】岡山県教委、岡山市教委、山陽新聞社
 - ・啓発動画の制作
 - ・スマホ宣言
 - ・小学校への出前講座実施



岡山県内の実践を紹介! 今すぐOPEN!

校内研修で進める指導体制づくり

全ての児童生徒に適切な情報モラル指導を行うには、校内研修を中心とした、指導体制づくりが必須です。校内研修でも取り扱える情報モラル指導の4つのステップを紹介します。

【STEP1】児童生徒の実態把握と課題整理

情報モラルの系統的な指導のために、児童生徒の実態把握や課題整理を行い、今必要なこと、これから必要となることを職員相互の協議の中で明らかにし、共有します。

【STEP2】年間計画の作成と見直し

継続的な指導を行うためには年間計画を立てることが大切です。指導事項のもれをなくし、各教科と関連付けて指導を行うには、情報モラル指導モデルカリキュラム表や情報モラルカリキュラムチェックリストが参考になります。

【STEP3】指導方法の検討

授業の中では一方的な講義だけではなく、動画教材等を視聴したり、児童生徒同士を話し合わせたりすることで、自分のこととして考えさせることが大切です。効率的に準備を進めるため、公的機関や企業が作成した教材も活用できます。

【STEP4】実際の指導と評価

授業後に授業者の振り返りや児童生徒のワークシートと感想を共有し、改善の視点をもって取組を充実させていくことが大切です。

参考：情報モラル教育実践ガイダンス（文科省）

授業で活用できる教材紹介

情報モラル指導の教材（文科省作成）

- 情報化社会の新たな問題を考えるための教材 ～安全なインターネットの使い方を考える～
〈児童生徒向けの動画教材、教員向けの指導手引き〉
- 保護者のための情報モラル教室 話し合っていますか？家庭のルール
〈保護者向けの動画教材・スライド資料〉

http://www.mext.go.jp/a_menu/shotou/zyouhou/1368445.htm



QRコード



※ ダウンロードして使える教材を紹介しています!アクセス方法は最後のページ →

今すぐOPEN! スマホ・ネット支援モデル表を紹介!

小学校の取組

■ 授業実践と家庭との連携【瀬戸内市立牛窓西小学校】

SNSへの不適切な投稿がテーマの動画教材を活用した授業実践を行った。学習後、持ち帰らせたワークシートに保護者からコメントをもらい、家庭と連携を図った。



■ SNS体験に学ぶ【倉敷市立水島小学校】

一人一台のタブレット端末を操作し、SNS疑似体験を行った。「失敗を経験する場（安易な判断が危険を招き、思いもよらない状況に陥っていく）」を設定することで、SNSの楽しさや怖さを実感できる実践となった。



■ 全校で取り組む授業実践と保護者会【井原市立青野小学校】

児童の実態と発達段階に合わせるために三つのグループで授業内容を検討し、児童への指導と保護者への啓発に取り組んだ。



■ トラブル体験に学ぶ【総社市立秦小学校】

疑似体験を取り入れた実践を行い、スマホやネットについて普段の利用をもう一度見直したり、これまで体験したことのない状況になった時の対処方法を考えたりする機会を設けた。



■ 小中連携で進める【浅口市立金光小学校】

中学生を講師として招き、小学生にメディアコントロールの必要性を啓発する取組や、ICT支援員と連携した情報モラルの実践を継続的に行っている。



■ 日常生活とメディアの利用を考える【真庭市立河内小学校】

企業による出前授業や中学校と連携したノーメディアデーの実施、生活リズムチェックを行い、自分自身の生活習慣を見直す取組を継続的に行っている。

特別支援学校の取組

■ 自分のこととして考える【岡山県立岡山東支援学校】

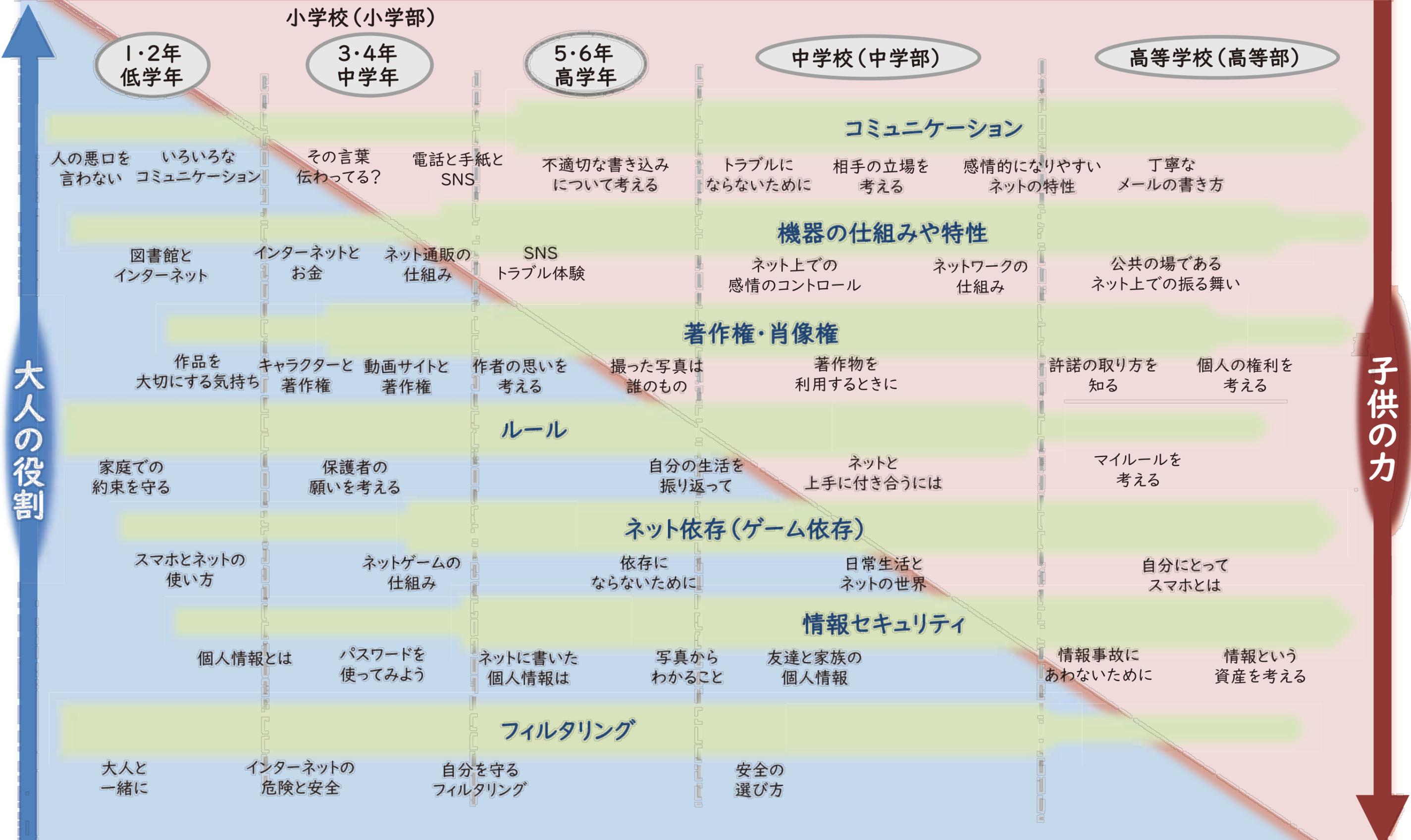
中学校の実践を参考に、既存の動画教材を活用し生徒自身が考える授業を行った。話し合いの場面では、各グループに教師が進行役として加わり、自分のこととして考えられるよう支援を行った。



■ コミュニケーションの学習として【岡山県立倉敷琴浦高等支援学校】

コミュニケーションに関する授業の一部に情報モラルを意識させる内容を取り入れている。演習や話し合い等、生徒に考えさせる場面を通して、自己理解や他者理解が深まる授業を実施している。

児童生徒が身に付けること



保護者や学校・地域が支援すること

※ 児童生徒の課題に合わせて、体系的な授業内容を検討する時にヒントとなる資料として作成しました。情報モラル指導モデルカリキュラム表(文科省)と合わせてご活用ください。児童生徒の実態に応じて、調整し活用することも可能です。

中学校の取組

■ 校内研修による共通理解【井原市立井原中学校】

情報モラルの指導は個々の教員の判断に基づいて行っていたが、情報担当を中心に校内研修を企画し、系統的な取組となることを目指した。内容については、センターの研修資料を基に自校の課題と思われることを付け加えた。



■ 親子で学ぶスマホ・ネットの適切な活用【総社市立総社西中学校】

スマホやネットの「不適切な使用は適切な使用を促すことによって自ずと減っていく」との考えのもと、闇の部分だけに焦点を当てるのではなく、光の部分—スマホの適切な利用—をテーマとした参観授業を実施し、保護者に学校の取組を理解してもらい、一緒に学ぶ機会を設けている。

■ 教職員研修を生かした学習会【浅口市立金光中学校】

日曜参観日で、情報モラルをテーマとした授業と全校生徒と保護者を対象とした学習会を実施した。学習会では、教職員が参加した研修会の内容を基に作成した資料を使って説明し、多くの事例について学んだ。



■ スマホサミットの取組を広げて【久米南町立久米南中学校】

OKAYAMAスマホサミットで話し合った内容を基に、スマホの正しい使い方と呼びかけるための「オリジナルのぼり」を作成した。生徒会役員の生徒が、学区の3小学校を訪れ、のぼりの贈呈と、スマホに関するクイズを中心としたミニ授業を実施した。

高等学校の取組

■ 専門知識としての情報モラル【倉敷市立倉敷翔南高等学校】

教科「情報」の必修科目において、情報や情報技術の役割や影響、情報モラルの必要性や情報に対する責任について、専門知識をもった教員が授業を行い、望ましい情報社会の創造に参画しようとする態度を育成している。



■ 生徒が企画した全校集会【岡山県立真庭高等学校(落合校地)】

生徒が意識啓発用の動画を作成した。全校集会で上映し、生徒と教員がグループになってスマホの適切な利用に向けた意見交換を行った。

情報モラルポータルサイト(スマポ)



<http://www.okayama-c.ed.jp/sumapo/>

QRコード



スマホネットEduポータル(スマポ)

岡山県総合教育センター情報教育部

第3回 研究委員会@岡山県総合教育センター



sumapo01

2018年2月6日

未分類

編集



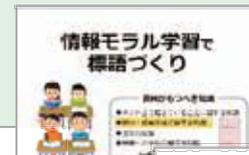
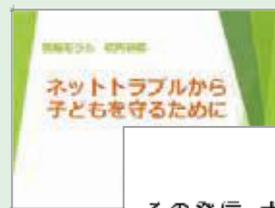
検索

最近の投稿

- ネットゲーム依存、夜間徘徊～WHO注意、各自治体対策
- 平成29年「春のあんじんネット・夏休み一斉行動」
- 保護者・地域内は学習サポート「船って!!」

【掲載コンテンツ】

- 校内研修モジュール
- 実践事例の紹介
- 指導用教材のリンク
- 関連ニュースのリンク



その発信、大丈夫?



平成28・29年度 岡山県総合教育センター所員研究(共同研究;情報教育) 「情報モラルに関する研究(スマホ・ネット問題に関する事例収集と情報提供)」

【研究委員会】

■指導助言者

平松 茂 環太平洋大学特任教授

■協力校

瀬戸内市立牛窓西小学校(H28年度) 倉敷市立水島小学校(H28年度) 井原市立青野小学校(H29年度) 総社市立泰小学校(H29年度)
浅口市立金光小学校(H28年度) 真庭市立河内小学校(H29年度) 井原市立井原中学校(H28年度) 総社市立総社西中学校(H28年度)
浅口市立金光中学校(H29年度) 久米南町立久米南中学校(H29年度) 岡山県立真庭高等学校(H28・29年度)
倉敷市立倉敷翔南高等学校(H28・29年度) 岡山県立岡山東支援学校(H28・29年度) 岡山県立倉敷琴浦高等支援学校(H28・29年度)

■研究委員

土肥 直樹 岡山県総合教育センター情報教育部長 青山 茂行 岡山県総合教育センター情報教育部指導主事
西村 能昌 岡山県総合教育センター情報教育部指導主事 浅野 雄一 岡山県総合教育センター情報教育部指導主事

平成30年2月発行

情報モラル指導ガイド ～全ての児童生徒の適切な指導を目指して～

【編集兼発行所】岡山県総合教育センター

〒716-1241 岡山県加賀郡吉備中央町吉川7545-11 TEL(0866)56-9101 FAX(0866)56-9121

URL <http://www.edu-ctr.pref.okayama.jp/> E-mail kyoikuse@pref.okayama.lg.jp

【お問い合わせ】

情報教育部

TEL 0866-56-9107